



一期一会

ドー トウイ ズオン
DO THUY DUONG

私は日本に来てもうすぐ二年になります。ベトナムにいた時、日本は素敵な国で日本人は義理人情を持ち、親切と聞きました。それは日本に来て、実際に仕事や日本の生活で沢山経験ができました。沢山の事を学びました。

ところで、私たちは最初十四人いました。十四人でそれぞれ十四の性格を持っています。みんな一緒に寮に住んでいます。喧嘩がないようにわざと私はみんなの事に関心を持たない方がよいと思っていました。自分の事をばかり考えて、みんなと挨拶程度しかしませんでした。一年間その生活を過ごしました。一年後、新人が来ました。人数が増えるとともに複雑な事も増えました。日常生活も仕事も毎日嫌な事があって、例えば共用品とか使った後で元に戻さなかったり、仕事後、休みたいのにみんなが騒がたりして、それでみんなの事がもっと嫌になりました。益々みんなと話したくなくなりました。

ある日私は日本の友達に「あなたはこの仕事をどう思いますか。」と聞きました。その人は「とても大変です。食品加工の衛生管理は厳しくて、仕事も思うように行かない事ばかりで、怒られたり、注意を受ける事も多々あります。中々仕事を覚えられないです。」私は「辞めるつもりですか。」と聞きました。その人は「色々な事があったり、人々と出会うのはご縁だと思

います。この仕事を始めて、出会った人もいっぱいいるし、友達とか仲間もできたし、仕事は本当に辛いけど、その仲間がいるから、まだまだ頑張りたいです。」と答えました。あなたの人生は何人に出会おうと思いますか？今日あなたと話す人はいつかまた会えると思いますか？今の機会はなくなるかもしれません。その瞬間を考えるときっとあなたは一刻の猶予もならないと思いますと言われました。その事を聞いて、私は今まで偏った考え方や同僚のベトナムの友達に対する接し方を思い出してとっても後悔しました。世界の中に何億人がいますが、私たちは同胞で、異国に来て、一緒に暮らして仕事をしています。それは奇蹟ではないですか。私はみんなの事を大切にせずなのに、私はみんなの事を全然気にしませんでした。みんなは異国に来て、家族や親戚を離れて、同じ家庭のような環境で、同じ目的を持ち、お互いに大切にしなければならぬのに、みんなと話さないことで一年間無駄にしました。

その友達の言葉で私の考え方が変わりました。みんなと仕事の事とか家族の事とか沢山話すようにしました。実習に関してはお互いに励んでいます。時々一緒に出掛けたり、日本の美しい所を発見したりして楽しい時間を作っています。残り一年だけです。私はみんなと一緒にいる時間を大切にします。良い思い出を沢山作りしたいと思います。ベトナムに帰っても、日本で実習した時間を思出して最高の幸せ期間だなと感じられるようになりたいです。私たちは出会って実習生として来日するのは一期一会かもしれないからです。

国籍	ベトナム
職種	惣菜製造業
実習実施機関	株式会社菜の花
監理団体	あおぞら協同組合